

1. 開催概要

日時：令和3年10月1日（金）18：30～20：30

場所：丸亀市市民交流活動センター（マルタス）1階 多目的ホール1・2

目的：丸亀市自治基本条例の検証や第二次丸亀市総合計画の改定を推進するにあたり、ともに丸亀市の未来について考えていただくとともに、その未来を実現させるために今からやるべきことなど、参考となる意見をいただくこと。

ファシリテーター：植谷澄子さん

香川短期大学生活文化学科准教授、丸亀市自治推進委員会委員、
丸亀市行政改革推進委員会委員

参加者：15名

丸亀市と包括連携協定を締結している企業、大学等に所属する方々
連携先：(株)百十四銀行、(株)香川銀行、コープかがわ、香川大学、
四国学院大学、香川短期大学、四国職業能力開発大学校

オブザーバー：1名

2. 導入

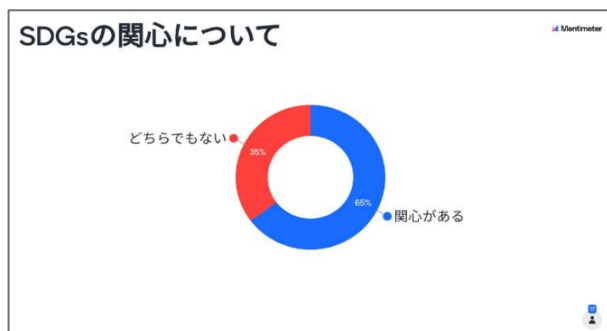
メンチメーターというアプリを活用し、各自のスマートフォンからテーマに沿った意見を送信した。匿名性があることから意見が出しやすく、結果をリアルタイムで可視化できる。

テーマ：①SDGsに関心がある？

②10年後の丸亀市がどうなってほしい？

① SDGsに関心がある？（関心がある、どちらでもない、関心がないから選択）

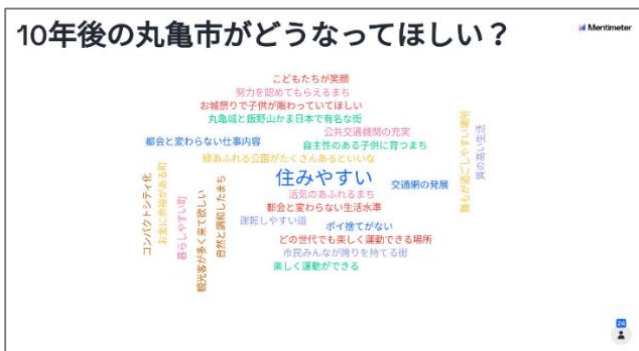
結果は、「関心がある」65%、「どちらでもない」35%、「関心がない」0%となった。



② 10年後の丸亀市がどうなってほしい？（自由記述）

《主な意見》

- ・ 住みやすい
- ・ 自然と調和したまち
- ・ 緑あふれる公園があるまち
- ・ 自主性のある子供に育つまち
- ・ 都会と変わらない生活水準
- ・ 活気のあるまち
- ・ 楽しく運動できる場所
- ・ 運転しやすい
- ・ 交通網の発展
- ・ ポイ捨てがない



3. ワークショップのテーマ及び結果

【テーマ1】SDGs達成のために実行すべきこと（グループ①②③）

SDGsとは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略で、2015年9月の国連サミットにおいて採択された2030年を期限とする国際社会共通の目標である。17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

丸亀市のまちづくりと重なることも多いSDGs達成のために、わたしたちは日々の中でどのような行動をとればよいただろうか。

あらかじめ割り振られたSDGsの目標に沿って、グループワークでは「誰が実行すればよいか」を付箋の色によって分類し、意見を出し合った。（黄色付箋：自分がすべきこと、ピンク付箋：丸亀市がすべきこと、青付箋：企業・団体がすべきこと）

グループ①

SDGs 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

SDGs 13 気候変動に具体的な対策を

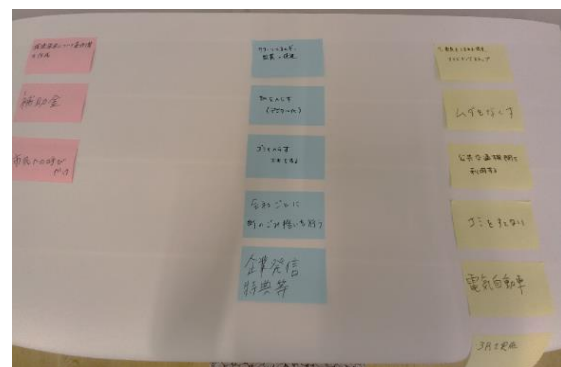
SDGs 14 海の豊かさを守ろう

SDGs 15 陸の豊かさを守ろう



主な意見

自分がすべき	丸亀市がすべき	企業・団体がすべき
<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに消灯 ・アイドリングストップ ・公共交通機関の利用 ・ムダの削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に関する条例の作成 ・電気自動車購入等への補助金交付 ・市民への呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化による紙の削減 ・ごみを減らす工夫 ・町のごみ拾い ・クリーンエネルギーの開発促進



グループ②

SDGs 8 働きがいも 経済成長も

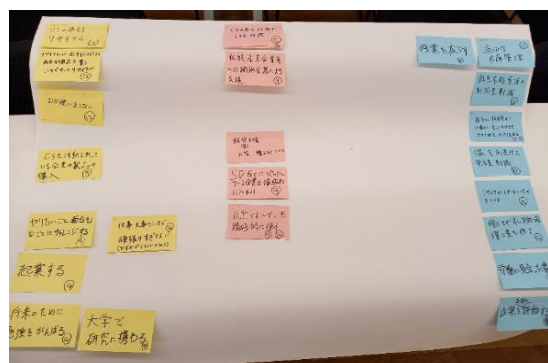
SDGs 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

SDGs 12 つくる責任 つかう責任



主な意見

自分がすべき	丸亀市がすべき	企業・団体がすべき
<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別 ・リサイクル ・CSR活動を行う企業の製品購入 ・再生利用品の購入 ・やりたいこと、面白そうなことへチャレンジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援 ・技術者が活躍する機会の創出 ・伝統産業への補助金による支援 ・自然エネルギーの積極的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境 ・職員の成果に対する正当な評価 ・若手職員への技術継承 ・再生不能資源の利用量削減 ・適切な在庫管理



グループ③

SDGs 1 貧困をなくそう

SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

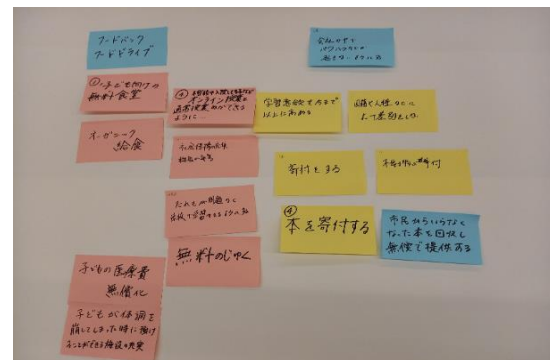
SDGs 4 質の高い教育をみんなに

SDGs 10 人や国の豊かさを守ろう



主な意見

自分がすべき	丸亀市がすべき	企業・団体がすべき
<ul style="list-style-type: none"> ・ 寄付 ・ 学習意欲の向上 ・ 多文化への理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供向けの無料食堂 ・ 無料の塾 ・ 不登校や入院中の子供たちへのオンライン授業 ・ オーガニック給食 ・ 社会保障の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードバンク ・ 社内でのハラスメント防止 ・ 市民から不要な本を回収、無償提供



【テーマ2】ICTを使った市民参画手法（グループ①）

まちづくりは行政だけで進められるものでなく、多様な考えや経験、技術などを持つ企業の方や若い方たちにいかにして参画していただくかが重要な課題となっている。

従来の参画手法としては、市や地域行事の企画参加や、ミーティングへの出席、アンケートへの回答が挙げられるが、今後ICT（情報通信技術）をどのように使用すると市民参画を広げることができるだろうか。

グループ①の意見

ICT×私たち

防災

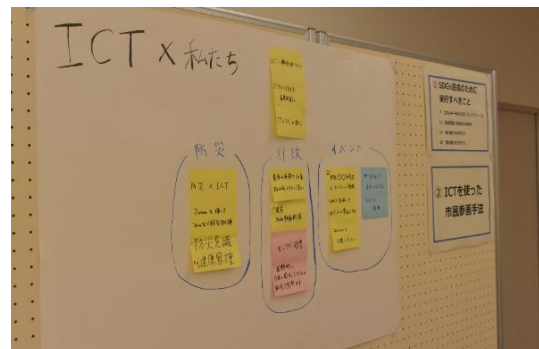
- ・ Zoomを使った防災訓練
- ・ 災害が発生したときの情報収集

行政

- ・ 選挙に関する動画配信
- ・ オンライン投票
- ・ セキュリティ強化
- ・ 定期的なアンケート配信

イベント

- ・ SNSを活用したPR
- ・ 町全体のイベント化



【テーマ3】 コロナ禍における地方回帰策（グループ②）

新型コロナウイルスの感染拡大により、地方移住への関心が高まっている。また地方では人口減少を少しでも和らげたいとの思いから、県外からの移住を歓迎している。コロナ禍で地方回帰への流れが見られる中、丸亀市への移住者を増やすためにはどのような方策が効果的だろうか。

グループ②の意見

「住む人に優しい」丸亀
～制度編～

- ・子育て支援
- ・医療費支援
- ・移住の費用負担軽減
- ・一歩行けば都会、一歩行けば田舎

「住めば都」丸亀
～インフラ編～

- ・フリーWifi
- ・リモートワーク環境の整備拡充
- ・公共交通機関の充実

「映える」丸亀
～環境・整備編～

- ・人気スポットをつくる
- ・自然豊かなところをアピールする
- ・健康寿命を延ばすことのできる施設をつくる（スポーツジム、プール等）



【テーマ4】 デジタルを使った働き方改善（グループ③）

市民の方から提出される申請書、綴った台帳、会議の資料など、日々の業務を考えてみると、紙の書類が中心となっているものがたくさんある。残業が多い、研修を受けたいが時間がない、確認作業が多いなどと感じる業務の中には、紙の作業が足を引っ張っているケースも少なくない。業務の質を高めるため、デジタル化によって作業を効率的に行うことはできないだろうか。

グループ③の意見

ワークライフバランスの充実 ～自分らしく生きるために！！～

仕事面

- ・ オンライン化
(タブレット利用、オンライン研修)
- ・ データ管理
(デジタル書類、データ共有、電子申請、電子決裁)
- ・ AIの活用

【メリット】

紙の削減、事務処理の効率化、保管場所の省スペース化、労働力の削減

【デメリット】

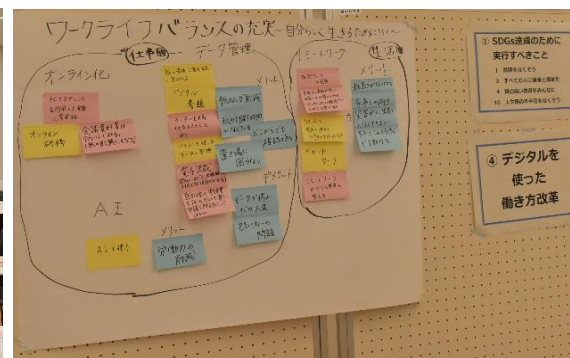
データ紛失時やセキュリティ面の対策が必要

生活面

- ・ リモートワークの充実
(自宅だけでなく、場所を選ばず仕事ができるようにする)

【メリット】

育児・介護や家事との両立、転勤が不要になる



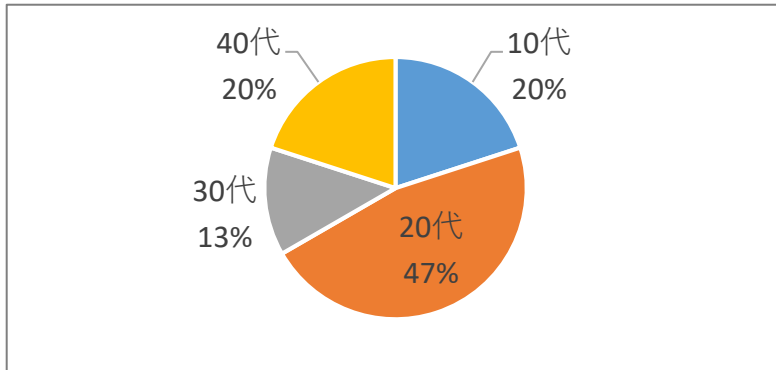
4. 参加者アンケート集計結果

調査対象：丸亀未来ミーティング参加者

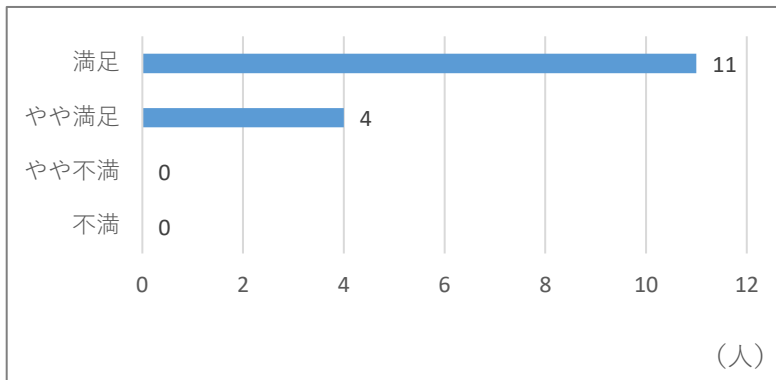
回収数：15件

回収率：100%

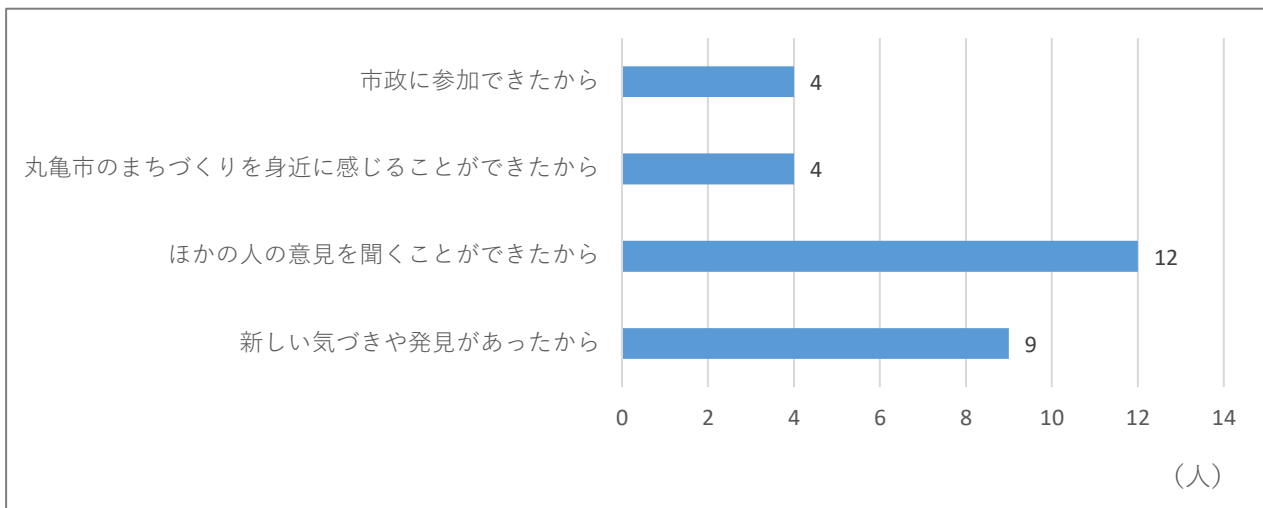
【質問1】 あなたの年代は？



【質問2】 参加された感想をお聞かせください。

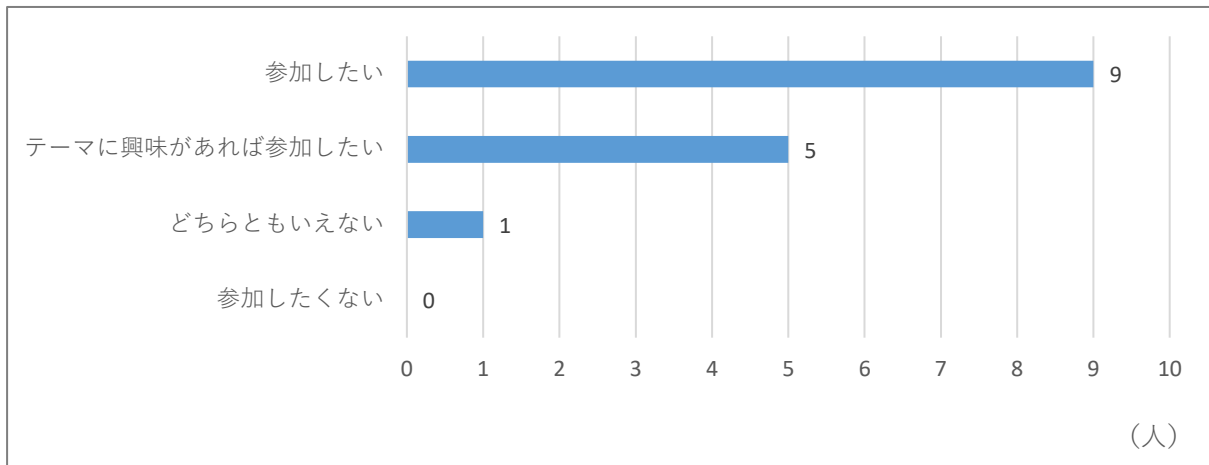


【質問3】 質問2で「満足」「やや満足」と回答された理由は何ですか？（複数回答可）



【質問4】 質問2で「やや不満」「不満」と回答された理由は何ですか？ → 該当者なし

【質問5】 今後、このような機会があれば、また参加したいと思いますか？



【質問6】 その他、ご感想やご意見がありましたら、お聞かせください。（自由記述）

(評価)

- ・ 貴重な体験ができて非常に良かった。
- ・ 人の意見を聴く機会を与えていただきありがたい。
- ・ 発想が人それぞれで有意義だった。
- ・ 地域のことをもっと考える機会になった。
- ・ 同世代の人とこのような話をする機会がないため、新鮮な気持ちで参加できた。
- ・ 若い人の意見が聞けてよかった。丸亀の未来に希望が持てる。

(課題・提案)

- ・ 事前に内容がわかれば、より良いアイデアが出ると思った。
- ・ もう少し準備する時間があれば、より良い議論ができたかもしれない。
- ・ 継続して開催してほしい。